

Topic 64

米国ワイオミング州 & モンタナ州の VCP

- 1) こんなところ
 - 2) 州の自主浄化プログラム (VCP : Voluntary Cleanup Program)
-

お疲れ様です。環境メルマの佐藤です。

ワイオミング州とモンタナ州のブラウンフィールドを見てみます…の前にちょっとペンシルバニア州の環境政策関連情報のお知らせです。

ペンシルバニア州のレンデル知事は、先週の 2 月 1 日、地球温暖化問題を考慮した州におけるエネルギー脱依存戦略を発表しました。

その発表文書によれば、次のような戦略ゴールが掲げられています。

- ・ 光熱費軽減 (今後 10 年間で 100 億ドル削減)
- ・ 輸入原油脱依存！そして州におけるクリーンエネルギー生産能力強化
- ・ 州におけるエネルギー生産・技術セクターの拡大と雇用増加

米国は京都議定書に批准していない国ですが、州レベルでこのような動きがはじまっています。ブラウンフィールド同様に、州や自治体レベルでがんばっているようです。

詳細にご興味のある方は以下の速報 (英語) をご覧下さい～。

<http://www.governor.state.pa.us/governor/cwp/view.asp?a=1115&q=451314>

1) こんなところ

ワイオミング州は米国北西部の州。先週ご紹介したコロラド州の北に位置しており、ロッキー山脈が縦断しています。「ワイオミング」ってあまり耳に馴染まない名前かもしれません。これはもともと「大草原が山々と出会う場所」という意味だそうです。東部に広がるグレートプレーンズと西にそびえたつロッキー山脈が接している同州には、たいへん変化に富んだ風景が広がっています。

米国に加入したのは 1890 年 7 月 10 日 (44 番目)。州人口は約 50 万人強、人口密度は約 1-2 人/k m²。これはアラスカ州に次いで 2 番目に低い人口密度です。州都および州最大都市は人口 5 万人少々の小柄なまち、シャイアンです。

田舎と認識されているワイオミング州ですが、州一人当たりの平均所得は国平均をはるかに上回り、失業率は国平均以下。この経済状況の支えているのは州の鉱業、畜産業、農業そして観光業です。毎年 600 万人以上もの人々が、世界で初めての国立公園となるイエローストーンをはじめとする州内の自然公園へ足を運んでいます。

ワイオミング州から北上するとそこはモンタナ州。米国で 4 番目に広い面積を占める州です (1 位はアラスカ州、2 位はテキサス州、3 位はカリフォルニア州)。米国に加入したのは 1889 年 11 月 8 日 (41 番目)。州人口は約 94 万人、人口密度は約 2-3 人/k m²。これはアラスカ州とワイオミングに次いで 3 番目に低い人口密度となっています。州都はヘレナ、州最大都市はビリングズです。

主な産業は、畜産業、農業、材木業、鉱業それから観光業。日本でも同州へのスキー・スノーボードツアーが静かな人気となっているようです。州一人当たりの平均所得はワイオミング州の 80% ぐらいにとどまっています。この状況を打開すべくカジノをオープンするなど新たな観光名所開発の試みもあるようです。州北西部からカナダにかけて、国境をまたぐ世界で唯一の国際公園として 1932 年に指定された平和自然公園があり、そのアメリカ側には 1995 年に世界遺産に登録された「氷河の美術館」と呼ばれるほどに美しいグレイシャー国立公園があります。

2) ワイオミング州とモンタナ州の自主浄化プログラム

両州ともブラウンフィールドがそれほど大きな社会問題として認識されていないようですが、他州同様に各種インセンティブをそろえた自主浄化プログラムやブラウンフィールド プログラムを設置しており、材木業、鉱業や病院等の跡地の浄化作業および管理を実施しています。

■ワイオミング州

2000 年に施行された「汚染サイトの自主修繕法」のもと、自主浄化プログラムが運営開始。

2000-2004 年の 5 年間に VCP あるいはブラウンフィールドプログラムへ登録したサイト総数は 45 件。

特記事項：サイトの対象を RCRA (資源保護回復法) サイトまで広げています。今後ブラウンフィールドサイトが発生しないよう未然防止にも力を入れています。

■モンタナ州

1995 年に施行された「自主浄化と再開発法」のもと、自主浄化プログラムが運営開始。

1995-2004 年の 10 年間に VCP あるいはブラウンフィールドプログラムへ登録したサイト総数：58 件

特記事項：ブラウンフィールドファンドを利用して、ブラウンフィールドサイトのみならず州のスーパーファンドプログラムの運営を援助しています。

今週はこのへんで。

来週は、サウスダコタ州とノースダコタ州のブラウンフィールドを見てみます。

Thanks God It's Friday!

Thanks God It's Brownfield!!

環境メルマ 佐藤 (t.sato@ers-co.jp)

坂野のつけたし (banno@ers-co.jp)

Nickname -▼ワイオミング州：「Equality State/Suffrage State (1869 年全米で初めて女性に参政権が与えられたから)」「The Cowboy state (映画「シェーン」のロケがこの州のティートン国立公園で行われました)」▼モンタナ州：「The Treasure State (金銀財宝の州。世界中で1年間に採掘される金は約2500トン、そのうちアメリカは10%、うちモンタナ州はその4~5%の約10トン。アメリカではネバダ州が8割以上を産出しています)」「Big Sky Country (州の東側は平原で、空が広い)」「Land of Shining Mountains (州の西側は、ロッキー山脈で山が多い)」「The Headwaters State (源流の州。ミズーリ川とコロラド川の源流)」

事例紹介 -Libby (リビー)：以下、EPA (米国環境保護局) の Libby Asbestos のページからの抄訳。「1999 年 11 月下旬、アスベストによって汚染されたバーミキュライト (蛭石) について、Libby 住民に不安の声があがり、また新聞記事にも取り上げられたことをうけ、EPA は緊急対策チームを Libby に送った。1999 年 12 月、EPA は大気、土壌、粉じん、そして、住宅やオフィスビルの断熱材から 700 近いサンプルの採取にとりかかった。室内空気の分析結果は、翌年 1 月にまず世帯主に、次にメディア、そして一般市民に伝えられた。また、EPA は Libby とその周辺で、高いレベルの汚染がありそうな場所 (蛭石の旧加工施設 2 箇所など) の特定に、直ちに取り掛かった。」

「2002 年と 2003 年には約 3500 世帯が調査された。また、12,000 を超える土壌サンプルが分析され、その結果は世帯主に送られた。2006 年までに、(蛭石の) 旧加工施設やそのほか住民が立ち入ることがある (汚染) 場所が浄化されている。これまでに 794 箇所の住宅及び商業用不動産で浄化が完了。2005 年には少なくとも 170 箇所の完了が見込まれている。」

(<http://www.epa.gov/region8/superfund/libby/background.html>)

Libby 鉱山は 1990 年に閉じられましたが、操業中は世界の蛭石生産高の 80% を占めていたそうです。1992 年には、鉱山と Libby 市の一部がスーパーファンド法の優先リストに入り、これによって浄化活動が効果的に推進できるようになりました。一方、健康被害は一般の市民にも発生しており、まちの将来の発展に重たい課題を残しているのではないかと想像します。Libby 観光局のウェブサイトを見ると、可愛くて自然の多い、落ち着いた場所だとわかります。

(<http://www.libbymt.com/> Photo Gallery をご覧ください)